

令和2年10月5日

山梨県森林環境部林業振興課

電話 055-223-1652 (内線 6206)

報道関係者各位

## 県産特用林産物の放射性物質検査の結果(令和2年度第7回)について ＜出荷制限区域における野生きのこの検査(第2回目)＞

出荷制限区域(富士吉田市、鳴沢村及び富士河口湖町)内で発生した野生きのこ20検体について、放射性物質の検査を実施したところ、3市町村で採取された野生きのこから、食品衛生法で定められた一般食品の放射性セシウム濃度の基準値100Bq/kgを超える放射性物質が検出されました。(別紙参照)

出荷制限区域の野生きのこについては、放射性セシウム濃度が安定して基準値を下回ることが確認できるまで、国の出荷制限が解除されないことから、当分の間、採取、出荷及び摂取の自粛の要請を継続します。

また、県では、今後も出荷制限区域の野生きのこについて検査を行い、データの収集、蓄積を行います。

※ 過去の検査結果については以下を参照してください。

<https://www.pref.yamanashi.jp/ringyo/fukyu/housyaseikennsakekka/r2tokuyourinsankensakekka.html>

### 3市町村の野生きのこについて

富士吉田市、鳴沢村及び富士河口湖町で発生した野生きのこは、平成24年10月以来、食品衛生法で定められた基準値(100Bq/kg)を超える放射性物質が検出されています。

そのため、出荷制限措置が継続されています。

(別紙)

品目	採取地点	核種別放射能濃度【Bq(ベクレル)/kg】 放射性セシウム			検査日
		セシウム134	セシウム137	セシウム合計	
マスタケ	山中湖村	不検出<2.66	41.8	42	9月28日
ニンギョウタケ	富士河口湖町	不検出<4.82	18.6	19	9月28日
オオモミタケ	富士河口湖町	不検出<1.74	不検出<1.80	不検出<3.6	9月28日
ハナイグチ	富士河口湖町	不検出<4.84	65.0	65	9月28日
ハナイグチ	富士吉田市	不検出<4.58	106	110	9月28日
コガネヤマドリ	富士吉田市	不検出<2.37	5.92	5.9	9月28日
オニナラタケ	鳴沢村	不検出<4.10	86.1	86	9月28日
ホウキタケ	鳴沢村	不検出<4.62	34.3	34	9月28日
カラマツアミイグチ	鳴沢村	不検出<4.36	38.2	38	9月28日
マツタケ	鳴沢村	不検出<4.48	35.2	35	9月28日
ハナイグチ	鳴沢村	不検出<4.46	48.0	48	9月28日
マツタケ	富士河口湖町	不検出<3.92	36.5	37	10月1日
ホウキタケ	富士河口湖町	不検出<4.77	80.6	81	10月1日
ハナイグチ	富士河口湖町	不検出<4.50	86.0	86	10月1日
アマタケ	富士吉田市	5.35	118	120	10月1日
アマタケ	富士吉田市	不検出<4.62	94.7	95	10月1日
マツタケ	富士吉田市	不検出<4.91	26.1	26	10月1日
ショウゲンジ	鳴沢村	不検出<4.14	149	150	10月1日
ショウゲンジ	鳴沢村	不検出<4.79	176	180	10月1日
ハナアミイグチ	鳴沢村	不検出<4.80	138	140	10月1日

(検査機関：(一社)新潟県環境分析センター  
山梨県衛生環境研究所)

※基準値以上の放射性セシウムが検出されたのは、網掛けの部分です。

※「不検出」とは、検査機関の分析による検出限界値未満のことを示します。

※「不検出<」の後の数字は検出限界値です。

※出荷制限がかかっている品目は、富士吉田市、富士河口湖町、鳴沢村で採取された野生きのこです。

【参考】(2012/4/1以降適用)

○食品衛生法上の基準値(放射性ヨウ素は暫定規制値)

放射性セシウム(一般食品)：100Bq/kg、放射性ヨウ素(野菜類)：2,000Bq/kg